

ほくのかわりに

さく、まつおか ゆか



ぼくのかわりに

さく、まつおか ゆか

うーん、ぜったいに だれかいる。

ぜったい ぼくのこと みる。

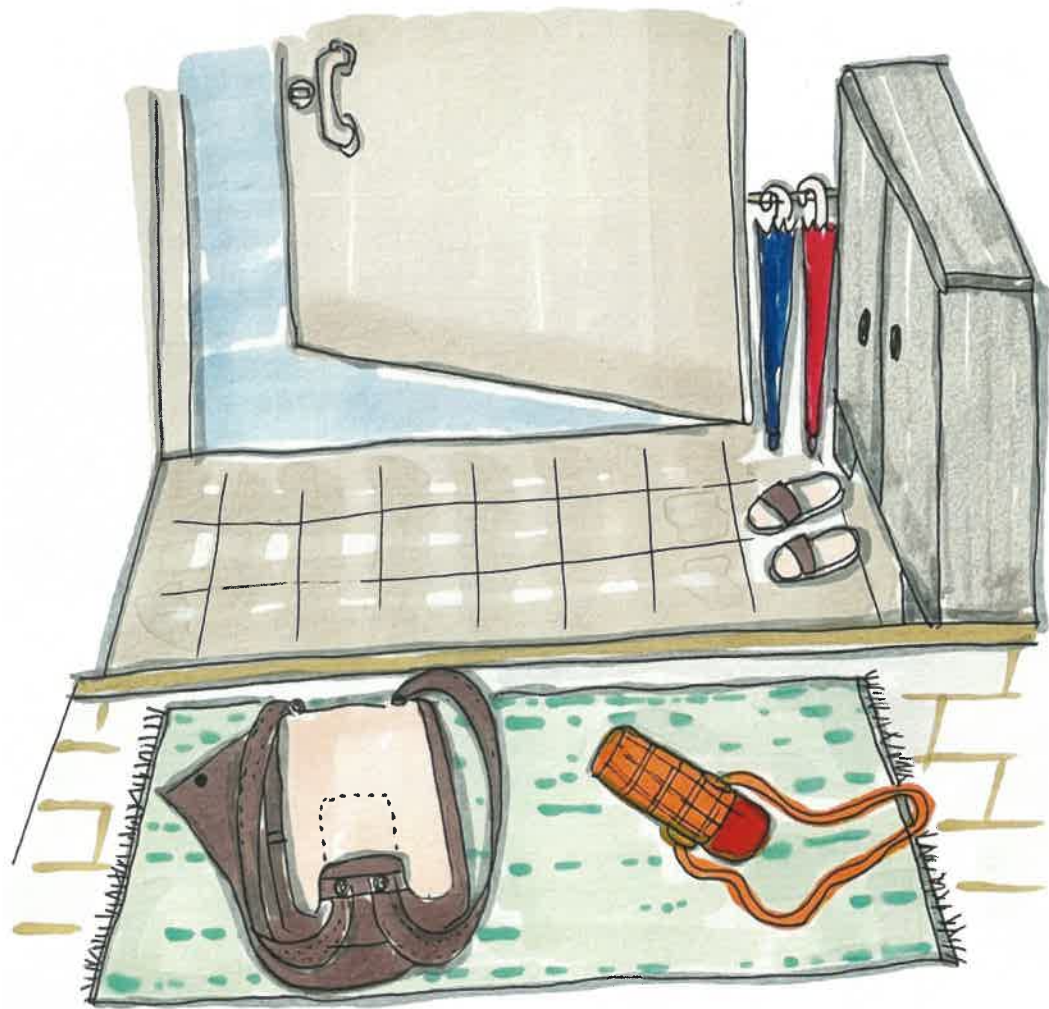
だれっ? どこっ?



そうくんの うち、おじぞうさまが
たくさんある ごひゃくらかんの ちかく。



さいきん がっこうに いく とちゅう、
ここで だれかに みられている ような きがして ならない。



そのひ、いそいで がっこうから もどると
おかあさんに いつも ちゅういされている ことも わすれて
げんかんに ランドセルを おきっぱなしに したまま、
いちもくさんに ごひゃくらかんに むかった。



そして さくらの きの うしろに かくれた。

「いったい、だれなんだ。 かならず みつけて やるからな。」

ちかごろ たんていごっこに はまっている そうくんは、
まるで じぶんが たんていになっただけで、
あたりを じーっと みわたした。

すると……



「あっ！」

そうくんは こえをあげた。

ごひゃくらかんの おじぞうさまの あいだから のぞく、
きらりと ひかる ふたつの め。



すーっと のびた てが ゆっくりと てまねきを する。
おどろいた そうくんは おもわず きのかげに かくれた。

もういちど おそろおそろ かおをだしてみると、なんと
めのまえに ねこが たっていたのだ。

ねこは ゆっくりと はなしはじめた。

「ごめんね、びっくりさせちゃって。ぼくは この ごひゃくらかんの
おじぞうさまを つくった いしく。 (*いして ものをつくる ひとのこと)

でも とおい むかしのはなし。
ぼくの いのちは もう とっくに
きていて、このよには ない。

だから、ねこの すがたを かりて
きみが きづいて くれるのを
ずっと まってたんだよ。」





こころをこめて つくった おじぞうさまも、ながい ねんげつの あいだに
こわされたり めすまれたり。
それに じしんやたいふう、なつの ひでりや ふゆの つめたい かぜで
くずれてしまい、いまでは ずいぶんと かずが へってしまった と
いうのだ。

「それ、ぼく しってるよ。」

そうくんは このあいだ じゅぎょうで ここを おとずれたときに、
かかりの おじさんから きいた そのはなしを おもいだした。

「それでね・・・」

ねこの すがたをした いしくさんは、
はなしを つづけた。

「きみに おねがいが あるんだ。
ぼくのかわりに たりなくなった
おじぞうさまを つくって ほしいのさ。」



「えー！
そ、そんなこと いわれても こまるよ。」

「ぼくには じぶんの からだが ない。
だから、むりだろ。ねっ、おねがい。」

そうくんは ひとばんじゅう かんがえた。
かんがえて かんがえて きめた。



つぎのひ がっこうにいくと、
「せんせい、みんなて ごひゃくらかんの おじぞうさまを つくりませんか。」
そういつて、きのうの できごとを みんなに はなした。



「このまえ かりのおじさんが おしえてくれた ことだ。」
「でも、いしは かたくて けずれないよ。」
「じゃあ、かみねんどて つくったら どう?」「うん、それ、いいとおもう。」
しずかに みていた せんせいの かおは、とても うれしそうだった。

そのひから、ほうかごの おじぞうさまづくりが はじまった。

みんなは おもいおもいの おじぞうさまを つくった。



おままごと しましょ。



ほん
よんであげるね。



おいしいかい?



かわいい おようぶく
どうぞ。





ほら、みて みて。

そうくんたちが たのしんで つくった おじぞうさまは、
ごひゃくらかんの おじぞうさまの むかいがわに ならんだよ。

ねこの すがたの いしくさんも てを ふってる。
そうくん、 きづいたかな？



あれから そうくんは、
ねこを みかける たびに そっと はなしかけて いる。

でも、おしゃべりを してくれる ねこは みつからない。



月 たけなりの
ごひやくらかんぞうの
ゆらいを もうしあげますん月

おかあさんのこえが
きこえるよ

★ぼくのかわりに★

令和3年 8月31日
発行者 まっおかゆか
発行所 三重郡菰野町



..:°*..:*あとがき*..*°*..:*

境内には 桜、藤、菩提樹の花が 季節を彩ります。
小さな丘の上にならぶ羅漢さんは
ひとつとして同じものではありません。

私が一番好きなのは 雪の日の羅漢さん。
静まり返った冷たい空気の中で
羅漢さんたちのおしゃべりが聞こえてきそう。

羅漢さんの向いにあるのが大日堂。
そのお堂の下には
かわいいおじぞうさまが飾ってあります。

減ってしまったおじぞうさまの数だけ、
地元の小学校の生徒さんが
作ってくれたものだそうです。
ここからお話をふくらませました。

最後に。

この敷地内にはひみつの「スイッチ」があるの。
押すと流れるアナウンスは 私の声。
その場所のヒントは・・・。
最後のページにね。



ぼくのかわりに

さく・まっおかゆか